捨てられていた命を、「一生モノ」の革に。

北海道・北見発の鹿革ブランド。捕獲されたエゾシカの皮を、狩猟から製品化まで一貫管理で扱っています。







73万8,700頭
全国のニホンジカ捕獲数（令和6年度速報値／環境省）

15万7,525頭
北海道のエゾシカ捕獲数（令和6年度確定値／北海道庁）

約0.5%
食肉処理施設が野生鳥獣から得る売上のうち、皮革が占める割合（令和7年度 野生鳥獣資源利用実態調査／農林水産省）

2時間以内
仕留めてから処理工場へ搬入するまでの時間（自社基準）

私たちのものづくり

北海道では、森林や農作物を守るためにエゾシカの捕獲が続いています。しかし捕獲された鹿の皮は、ほとんどが革として活かされることなく処分されています。私たちは、鹿の肉は食肉（poro wacca）に、皮は革（LEATHERECTION）にすることで、ひとつの命を丸ごと活用する循環をつくっています。

革の品質は鮮度で決まります。肉と同じように、鮮度が高いほど革はしなやかで強く、美しく仕上がります。だから私たちは、狩猟の工程から自社で管理しています。

01	02	03	04	05	06
ハンターが一発で仕留める	2時間以内に処理工場へ搬入	解体後すぐに原皮を冷凍	製品に合わせて原皮を選別	国内タンナーで鞣し	日本の職人が1点ずつ縫製

問屋や商社を介さず、原皮の管理から鞣し・縫製まで50以上の工程を国内で一貫管理。大量生産はできない代わりに、「柔らかく、軽く、強い」希少な高鮮度のエゾ鹿革が生まれます。

エゾ鹿革という素材

軽い

細かな繊維が何重にも絡み合う構造のため、薄くても強く、同じ大きさのバッグでも体感が変わります。3WAYコンパクトショルダーは本革で約300g。

強い

引き裂き強度に優れ、毎日ラフに使っても長持ちします。硬さで耐えるのではなく、しなやかさで耐える革です。

柔らかい

「革のカシミヤ」と呼ばれるほどのしなやかさ。最初から身体に馴染み、使うほどに艶と深みが増していきます。

手入れがいらない

通気性が高く、雨に濡れても自然乾燥で元に戻ります。革そのものが天然の油分を多く含むため、クリームやオイルは基本的に不要です。





鹿革は、現代の鞄に求められる性能を、昔から持っていた革です。

東大寺正倉院に保存されている鹿革製品は、1300年以上を経た今も柔軟性を失っていません。宮内庁の『正倉院紀要 第28号』は、調査したすべての皮革素材のうち「鹿革だけが柔らかい」と報告しています。だからこそ鹿革は、古くから「一生モノ」と呼ばれてきました。

二つのブランド

LEATHERECTION（レザーレクション）

北海道で捕獲されるエゾシカの皮を、狩猟から鞣し・縫製まで一貫管理で製品化する鹿革ブランド。ジビエ加工・販売のporo waccaとともに「ひとつの命を丸ごと活用する」ものづくりを行う。

運営：wacca create株式会社（代表取締役 林 徹）
本社：北海道北見市北進町1-11-10　東京事務所：東京都八王子市東浅川町914-1 ビル石峯302
leatherection.com　Instagram @leatherection

ROKUBO（ロクボー）

2021年、北海道北見市で設立されたアウトドアブランド。「鹿の命を無駄にせず活かす」をコンセプトに、鹿革・鹿角製品、ジビエ食品、ペットフードを展開。Makuakeでネクタイ・バッグなどの鹿革製品をLEATHERECTIONと共同展開している。

代表：野田坂 綱（のださか こう）
rokubo.camp　Instagram @rokubo.camp

出典：環境省「ニホンジカ・イノシシ捕獲頭数速報値（令和6年度）」／北海道庁「エゾシカ捕獲数（令和6年度確定値）」／農林水産省「令和7年度 野生鳥獣資源利用実態調査結果（食肉処理業者）」／宮内庁「正倉院紀要 第28号」